

第 2 回 令和首里城復興イベント実行委員会

日時：令和 4 年 5 月 27 日（金） 13：30～14:30

場所：沖縄県庁 6 階第 2 特別会議室

議題（1）令和首里城復興イベント「木曳式」の全体計画

議題（2）イベントタイトル等・ロゴマークの決定

第2回 令和首里城復興イベント実行委員会

議題（1）

令和首里城復興イベント「木曳式」の全体計画

令和首里城復興イベントの実施意義

首里城復興基本方針

正殿等の早期復元と復元過程の公開

イベントを実施することで首里城復元を段階的に公開し、復興への継続的な関心につなげる

首里城復興基本計画

復興基本計画の着実な推進のために目指す姿

木曳式等復元の各段階における重要行催事 の機会を中心に、多くの人々が関われる各種イベントを実施すること

令和首里城復興イベントの実施

平成時にも行われたように、沖縄県民をはじめとする首里城復元・復興を願う様々な主体に向けて、復元工事の始まりを記念するとともに完成を祈願し、往時の故事（木遣）に倣いつつ、県産材を活用する自治体や関係団体と連携して令和首里城復興イベントを実施する

「木曳式(こびきしき)」

琉球王朝時代に首里城正殿等の造営や修復に使用する御材木を運ぶ際に行われた行事。平成時は木遣行列も含めた祭事の総称として使用していた。

「木遣(きやり)」

木を運ぶ（＝遣り渡す）という意味。神社造営の神木などの建築用木材を大勢で運ぶときに使われる。平成時は木曳式のメインイベントとして位置付けられていた。

復帰50周年事業

として実施予定

首里城に象徴される歴史文化への理解を深め、県内外へ周知することで、これまでの沖縄の発展のあゆみや今後の展望についても発信する。

令和首里城復興イベント実行委員会の実施体制

令和首里城復興イベント実行委員会

委員長：沖縄県知事
副委員長：沖縄県副知事
 委員：沖縄県政策調整監
 委員：沖縄県土木建築部長
 委員：国頭村長
 委員：那覇市長
 委員：沖縄美ら島財団理事長

幹事会

※各事業部会の中で事務処理を行う

事務局
 沖縄県土木建築部首里城復興課

国頭フェスティバル
 事業 部会長
 国頭村農林水産課長

那覇フェスティバル
 事業 部会長
 那覇市観光課長

木曳パレード・
 木遣行列事業部会長
 沖縄県首里城復興課長
 協力委員:地域団体

首里城復興祭事業
 部会長
 沖縄美ら島財団
 首里城統括

その他
 開催地
 市町村

その他
 開催地
 市町村

その他
 民間事
 業

その他
 民間事
 業

連携

首里城正殿復元工事 起工式
 主催：内閣府沖縄総合事務局
 (令和4年11月3日予定)

首里城復興祭
 主催：首里城祭実行委員会
 (令和4年10月29日～11月3日)
 (予定)

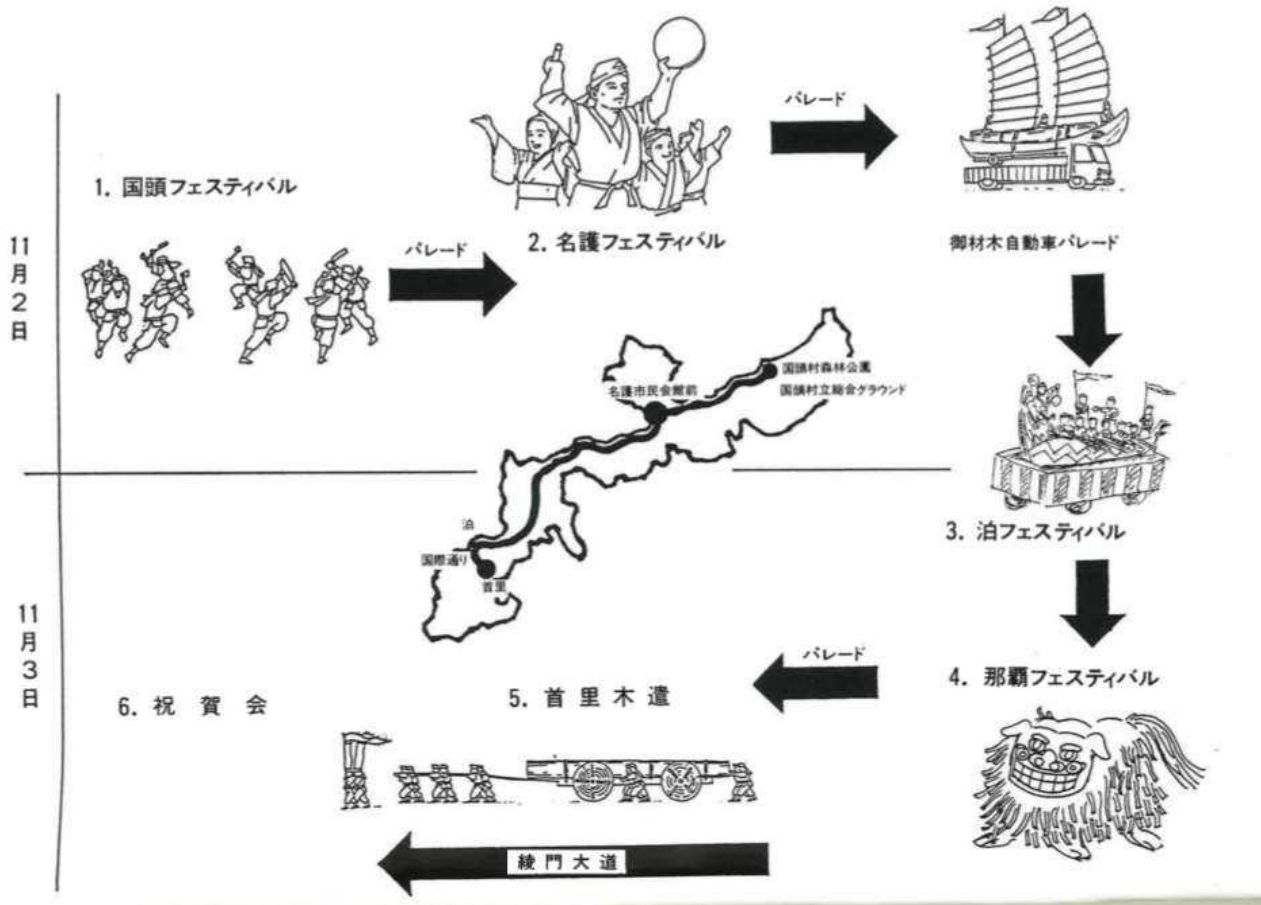
世界ウチナーンチュ大会前夜祭
 主催：世界のウチナーンチュ大会実行委員会
 (令和4年10月30日)

美ら島沖縄文化祭(国民文化祭)
 主催：国民文化祭実行委員会
 (令和4年10月22日～11月27日)

...発足時メンバー
 ...公募時追加メンバー

平成の木曳式について

首里城木曳式イメージ図



木曳式(パレード)の様子



木遣行列の様子

首里城復元期成会を筆頭に実行委員会形式で実施。沖縄総合事務局長及び沖縄県知事は顧問として参加。財源は負担金、協賛金で賄われていた。

「木曳式」 実施イメージ

開催時期：10月29日（土）～11月3日（木・祝）

木曳式

ねらい

○往時に倣った行事を実施することで沖縄の歴史・文化を発信しつつ、首里城復興への機運醸成を図る。
○寄付金を活用し調達した正殿復元に使用する木材をパレード等で用いることで、着実な首里城復元の進捗を多くの人々と共有する。

木曳パレード

ルート：国頭村～那覇市(国際通り)

寄付金を活用し県で調達した正殿復元に使用する木材（オキナワウラジロガシ）を積載した自動車パレード

国頭フェスティバル

国頭サバクイ等の伝統文化を披露し、文化継承に繋げる

参加・応援事業

首里城復興を願う趣旨のイベントを独自に実施する、各種団体との連携を図る

那覇フェスティバル

世界のウチナーンチュ大会のパレード等との連携により、国内外への情報発信、機運醸成を図る

自治体・民間企業との連携



木遣行列・木遣イベント

ルート：中山門跡～守礼門

公園周辺で
木遣行列・木遣イベント

地域団体、県関係者等出席予定

場所：首里城公園周辺

地域団体等と連携し、往時に倣った木遣行列を行い、「木遣」を効果的に演出し、伝統文化の発信につなげる

県民の参加



首里城復興祭

国・県・地域団体と連携した催事を展開する。

パレードから木遣行列までをYouTube等でライブ配信を行い、国内外の方々と首里城復興への思いを同時に共有する

木遣行列および木遣イベントの内容

木遣行列・木遣イベントのスケジュール(案)

- 【11月2日(木) 前日】 18:00~21:00 ●控室設営(首里高校体育館想定)
- 【11月3日(金) 当日】 5:00~9:00 ●交通規制(6:00規制想定)/会場設営/出演者準備

木遣行列(9:00~)

【出発セレモニー】

開会宣言・挨拶

【首里城木遣行列】

出発の儀

御材木のお清めと首里城完成の祈り

出発

御材木を中山門跡地~守礼門前へ運ぶ

納めの儀

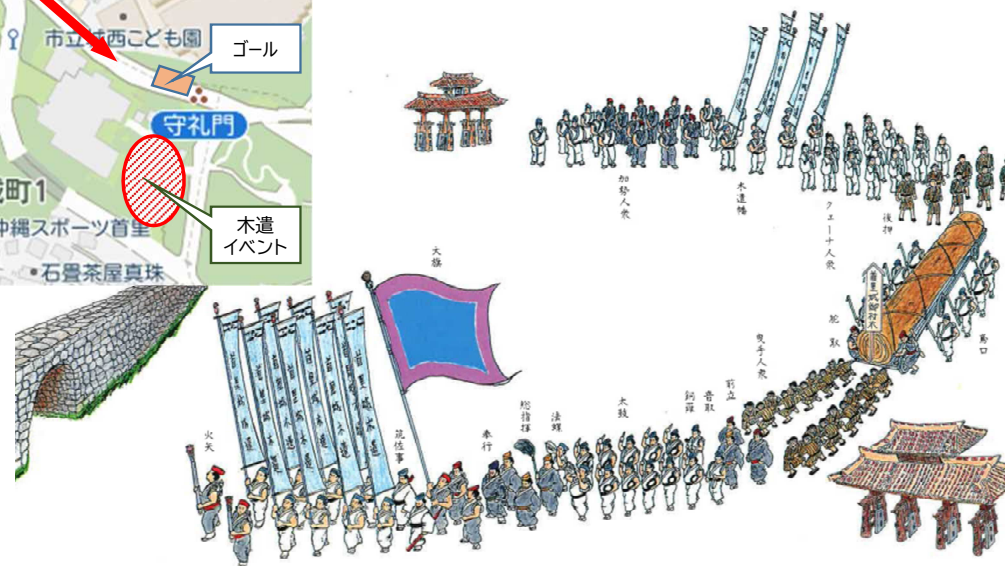


木遣イベント

首里城復興を願う地元首里の皆様・
首里に関わる皆様と共に
芝生広場にてステージイベントの実施

「木遣(きやり)」

木を運ぶ (= 遣り渡す) という意味。
神社造営の神木などの建築用木材を大勢で運ぶときに使われる。平成時は木曳式のメインイベントとして位置付けられていた。



木遣行列の一部参加者について、一般公募を実施する予定。また、国が実施する起工式との連携を図る。

令和首里城復興イベント 国頭フェスティバル(案)

開催期日：令和4年10月29日（土） 午前10時～

会 場：国頭村森林公園

内 容：

当日は、午前中にセレモニーを予定している。平成の木曳き式の際にも実施した、国頭村奥間集落の伝統芸能である国頭サバクイを披露する。また、会場では、本村で収穫された首里城正殿にて使用する木材の自動車パレードの出発式を行うことと、復興への機運を高めるため、木材を見る・触れることができることを沖縄県と検討している。セレモニーが終了した当日の午後は、令和首里城復興事業に賛同する事業者を募りイベントを実施できないかと検討している。

今後の流れ：

6月上旬	第1回実行委員会開催
9月頃	第2回実行委員会開催 【イベント内容確定】
10月29日	国頭フェスティバル開催



那覇フェスティバルについて(案)

日程：令和4年10月30日(日)

場所：那覇市国際通り

時間	内容
12:00~	交通規制開始
調整中	那覇フェスティバル イベント演目案 地バーリー、旗頭演舞など
那覇フェスティバル終了後	ウチナーンチュ大会前夜祭パレードとともに木曳パレード
18:00頃	終了



令和4年度 首里城復興祭（案）

1. 目的

琉球文化の普及啓発、沖縄の観光振興に加えて、首里城復興の機運を高めるため国や県、地域との連携により各種催事等を展開することで、沖縄の歴史文化の発展、県民の方々へ首里城復興に想いを馳せる機会の創出、地域の発展に寄与することを目的とする。

2. 日程・場所

令和4年10月29日(土)～11月3日(木・祝) 首里城公園及び公園周辺

3. 実施構成

主催: 首里城祭実行委員会(事務局: 沖縄美ら島財団) 共催: 那覇市、首里振興会、沖縄美ら島財団 後援: 内閣府沖縄総合事務局、沖縄県、OCVB等

4. 事業内容



①国王・王妃出御



②伝統芸能の宴



③国王・王妃御轎(御輿)乗車体験



④琉球王朝祭り首里「古式行列」



⑤首里城復興特別見学ツアー



⑥首里城復興祈念ステージ



⑦琉球泡盛の粋in銭蔵



⑧琉球王朝絵巻行列 映像上映

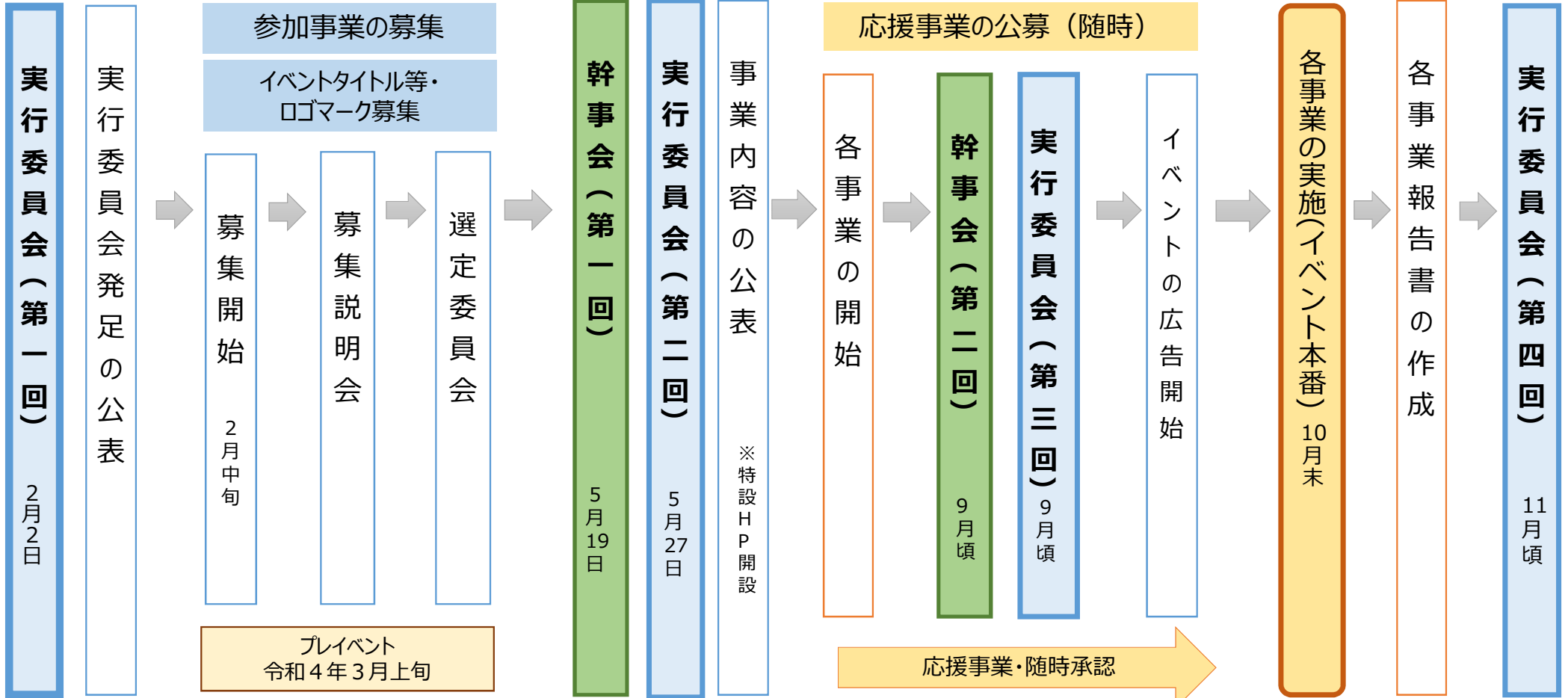
5. 備考

- 上記の内容は、今後、開催予定の首里城祭実行委員会に諮り決定する。
- 首里城正殿起工式や令和首里城復興イベントと相互協力することで相乗効果を高める。

令和首里城復興イベントのスケジュール

令和3年度

令和4年度



第2回 令和首里城復興イベント実行委員会

議題（2）

イベントタイトル等・ロゴマークの決定

令和首里城復興イベントにかかるイベントタイトル等・ロゴマーク

令和首里城復興イベント「木曳式」をイメージした、イベントタイトル及びロゴマークについて一般募集を行ったところ、イベントタイトル部門では71件、ロゴマーク部門では72件の応募作品が県内外より寄せられた。審査会(5月17日開催)による厳選なる審査を行った結果、下記の通りイベントタイトル部門最優秀賞1点、ロゴマーク部門最優秀賞1点が選定された。

【令和首里城復興イベントにかかるイベントタイトル等・ロゴマーク選定委員会構成委員】

沖縄県立芸術大学美術工芸学部デザイン工芸学科 教授 赤嶺雅氏

公益社団法人 日本グラフィックデザイン協会 沖縄地区代表幹事 内間安彦氏

一般財団法人 沖縄美ら島財団 首里城公園管理部 事業課 副参事 上江洲安亨氏

イベントタイトル部門

【最優秀賞】 新免 弘樹さん／東京都／コピーライター

《イベントタイトル》

いざ 首里城 令和の木曳式

《イベントキャッチフレーズ》

王国の伝統が、令和によみがえる。

《作品説明》

琉球王国の伝統が、令和の時代によみがえる。
首里城が、よみがえる。

フェニックスのように、生命力あふれるイベントにしたい。
すべての人の想いが、首里城に向かっていく。
そんな令和の木曳式を表現しました。

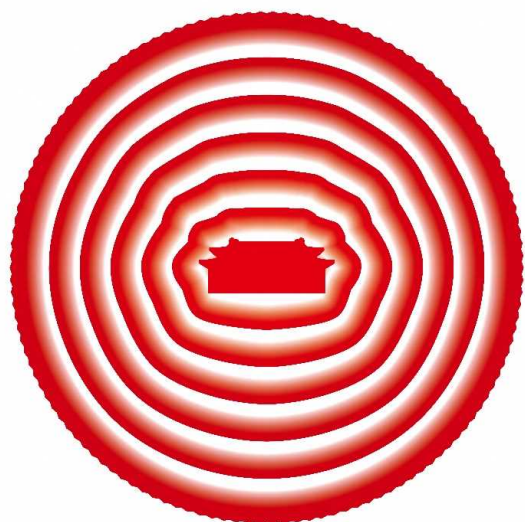
【選定理由】

タイトルに勢いを感じられ、王国時代の伝統が木曳式を通して繋がっていくイメージがうまく表現されている。

令和首里城復興イベントにかかるイベントタイトル等・ロゴマーク

ロゴマーク部門

【最優秀賞】 ふるやともあきさん／東京都／グラフィックデザイナー



《作品説明》

一言でいえば、
「琉球文化の復興と新たな文化の創出を目指す
『首里城、森、人のエネルギー』」である。

それは、
木曳式の木断面でもあり、首里城へ結集する人の力でも
あり、森から集まってくる自然のオーラでもある。

そういったものを、同心円、輪、和でシンボライズした。

【選定理由】

首里城を象徴する弁柄色が使われており、年輪をモチーフとしている点が木曳式を連想させ、未来へ広がりや首里城再建への思いがうまく表現されている。

令和首里城復興イベント問い合わせ先

令和首里城復興イベント「木曳式」事務局

TEL/ 098-863-5549

FAX/ 098-867-2733

メールアドレス/

reiwa-syurijo@ft-soukenn.co.jp

(稼働は5月31日からとなります。)

担当/ 稲福・金城・石原



首里城復興サイト